

弘学祭「弘学祭好きすぎて滅！」

時 10月11日(日)、午前10時～午後5時

所 弘前学院大学（稔町）

内 各学科企画、ジョナゴールドライブ、ハンドベルミニコンサート、ビンゴ大会、カラオケ大会、軽音ライブ、各サークルの展示・模擬店、ねぷた運行など

問 弘前学院大学学生課（☎ 34-5211）



弘前大学総合文化祭「結彩」

時 11月6日(金)、午後1時～4時／11月7日(土)・8日(日)の午前10時～午後4時

※一部ステージイベントは午前9時から。

所 弘前大学文京町キャンパス

内 学部祭、市町村のブース、模擬店、よさこい弘大、花火など

問 弘前大学（総務部総務企画課、☎ 39-3007／学務部学生課、☎ 39-3112）



太宰治ドラマリーディング 津軽カトリスト 秋の定期公演

秋にまつわる太宰短編を特集した臨場感あふれる朗読劇ステージです。

時 10月12日(月)祝、午後2時～3時20分

所 旧藤田家住宅（太宰治まなびの家〈御幸町〉）

上演作品 『兄たち』『座興に非ず』ほか

※当日の同時刻にはYouTubeチャンネルでライブ配信も実施（通信料は自己負担）／無料駐車場あり。

問 津軽カトリスト（平田さん、☎ 090-3123-3861）

※あおもり県民カレッジ単位認定講座



弘前市合併20周年記念 歴史から紐解く 岩木地区を知ってみよう

時 10月24日(土)、午後1時～4時（開場は午後0時45分）

所 中央公民館岩木館（賀田1丁目）2階大ホール

内 アトラクション…獅子踊（鳥井野獅子踊保存会）／講話1…「大浦城跡地発掘について」、講話2…「大浦城主為信から昭和の大合併を経て現在までについて」

問 岩木みらい協議会事務局（岩木総合支所総務課内、☎ 82-1621）

津軽塗技術保存会「秋の特別発表会」

津軽地方を代表する伝統工芸「津軽塗」は、国の重要無形文化財に指定されています。その技術の保持団体として認定されている津軽塗技術保存会の発表会を行います。

時 10月26日(月)～11月1日(日)の午前9時30分～午後4時30分

所 旧弘前偕行社（御幸町）「球突場」

内 津軽塗技術保存会正会員および研修生作品の展示／津軽塗に関する道具やパネル等の展示

問 津軽塗技術保存会事務局（文化財課内、☎ 82-1642）

SHINE RISE FES01 × 第8回堀越城秋まつり

今年は、弘前市を拠点とする農業チーム Team Farmers Challenge とのコラボ開催です！

時 11月3日(火)祝、午前10時～午後3時

所 史跡津軽氏城跡堀越城跡（堀越地内）

内 マルシェ、キッチンカー、堀越城謎解きミッション、城内見学ツアー、津軽あかつきの会による軽食販売、表千家旧長尾社中によるお茶提供、歴史講演会『弘前市史』には載らない津軽為信の逸話―外浜に築城せよ…えっ!?』

その他 一部有料／駐車場は堀越雪置き場をご利用ください。

問 文化財課（☎ 82-1642）



弘前地区環境整備センターの教室

エコな裂き織り体験教室

不用になった布と身近な道具を活用して、エコな裂き織りのオリジナル「ミニポーチ」を作ります。

時 11月7日(土)、午前9時30分～正午

対 小学生以上＝15人（小学生は保護者同伴）

持 不用な布2枚（約30cm×30cmサイズ）

※作業しやすく、汚れてもよい服装で参加を。

玉ねぎの皮の草木染め体験教室

時 11月28日(土)、午前9時30分～11時30分

対 小学生以上＝10人（小学生は保護者同伴）

持 厚手のゴム手袋、エプロン

※作業しやすく、汚れてもよい服装で参加を。

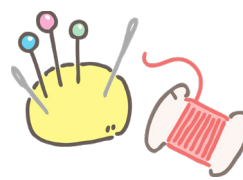
～共通事項～

申 電話、Eメール（教室名・氏名〈ふりがな〉・年齢・住所・電話番号を明記）／10月23日(金)まで

※2人まで連名で応募可能／応募多数の場合は抽選で決定し、10月30日(金)

までに応募者全員に結果を通知します。

問 弘前地区環境整備センタープラザ棟（町田字筒井、☎ 36-3388、E plaza-ebarahirosaki@ebara.com、受け付けは午前9時～午後4時、月〈祝の場合は翌日〉は休み）



弘前れんが倉庫美術館 上映会 『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』

全盲の美術鑑賞者・白鳥建二さんの20年を振り返り、その友人たち、美術館で働く人々、新たに白鳥さんと出会った人々を追い、彼らが紡ぎ出す豊かな会話を追ったドキュメンタリー映画です。

時 11月7日(土)の①午後1時開始、②午後4時15分開始／11月8日(日)の③午前9時30分開始

所 弘前れんが倉庫美術館（吉野町）スタジオB

¥ 一般＝1,000円／みんなの鑑賞応援チケット＝2,000円／H-MOCAメンバーズ＝800円／大学生・専門学校生＝500円

※高校生以下は無料／みんなの鑑賞応援チケットは、一般チケットに加え、上映運営と鑑賞サポートを支える応援チケットです／障害者手帳（ミライロIDを含む）を提示の場合、500円引き。付き添いの人も1人までは同料金で鑑賞できます。

申 電話、ホームページ内の専用フォーム

問 弘前れんが倉庫美術館

（☎ 32-8950）

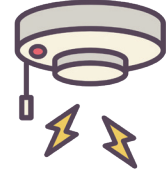


時 とき **所** ところ **内** 内容 **対** 対象・定員 **¥** 料金 **持** 持ち物
申 申込方法・期限 **問** 問い合わせ・申込先 **F** ファクス **E** Eメール

安全・生活環境・防災

10月19日(月)～25日(日)は秋の火災予防運動

この季節は日増しに寒くなり、火を取り扱う機会が多くなります。ちょっとした油断が火災の原因になることがあるため、暖房器具などの点検をお願いします。また、住宅用火災警報器を設置していない家庭は早めの設置をお願いします。「住宅防火いのちを守る10のポイント（4つの習慣・6つの対策）」を実行し、自分の家は自分で守るよう心掛けましょう。



4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

問 消防本部予防課（本町、☎ 32-5104）／最寄りの消防署、分署へ

ごみの持ち去りには罰則があります！

市では、令和7年11月1日から、家庭から出るごみを特定の人以外が持ち去る行為について禁止しています。持ち去り行為を繰り返す人には、最大で20万円の罰則も適用されますので、絶対に行わないでください。

また、ごみの持ち去りを発見した際は、市に持ち去りを行った人の特徴や自動車のフルナンバー、行為のあった日時などをお知らせください。**直接注意するとトラブルになる可能性もありますので、必ず市にご連絡ください。**市が持ち去り行為者を特定し、指導します。併せて、ごみ集積所に持ち去り行為を禁ずる旨を掲示する簡易的な看板も差し上げますので、必要な人は環境課にお問い合わせください。

問 環境課廃棄物対策係（☎ 35-1130）

弥生いこいの広場

営業開始のお知らせ

クマの出没に伴い、令和7年9月1日より閉場していましたが、電気柵工事を実施の上、10月2日(金)より今年度の営業を開始します。

閉場期間中にはイノシシやホンシュウジカの赤ちゃんも生まれるなど、動物たちは元気に過ごしています。皆さんのご来場をお待ちしております。

＜おもなクマ対策＞

- ・電気柵の設置
- ・忌避剤の設置
- ・場内放送の終日実施（ラジオ、音楽など）
- ・クマスプレー設置（案内所など）
- ・定時巡回
- ・クマ対策マニュアルの策定

問 弥生いこいの広場（☎ 96-2117）／（一財）弘前市みどりの協会（☎ 33-8733）